

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年12月19日)

[件名]

- 1 西日本段ボール工業組合との災害時応援協定の締結について
(危機管理政策課) … 1
- 2 弾道ミサイル落下を想定した県・市町村共同の住民避難訓練の実施について
(危機対策・情報課) … 2
- 3 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について(第38報)
(原子力安全対策課) … 4
- 4 平成29年度「防災とボランティアの日」及び「防災とボランティア週間」における防災関連行事について
(消防防災課) … 9

危機管理局



西日本段ボール工業組合との災害時応援協定の締結について

平成29年12月19日
危機管理政策課

災害時に避難所への長期避難が発生した場合の心身両面の負担を軽減すること、またエコノミークラス症候群等の疾患を予防することなど、避難所環境の改善に関する取組が求められています。

このため、間仕切り、簡易ベッドなど災害時の避難所の良好な環境を整えるために必要な段ボールの調達について、西日本段ボール工業組合と別添のとおり協定を締結することとなったので報告します。

1 協定に基づく協力事項

本県は、西日本段ボール工業組合から、段ボール製品の調達に関して以下の協力を得る。

(1) 災害発生時

- ① 調達・手配（段ボール製の簡易ベッド、シート、間仕切り、その他取扱商品）
- ② 指定した避難所への配送及び納品
- ③ 配送後の設置等に関する補助（努力義務）
- ④ 使用後の回収

(2) 平時

県または市町村が行う防災訓練、防災に関するイベントへの協力

→ 県では平成30年度に実施する福祉避難所開設訓練などへの協力を想定

2 協定締結式

日時：2018年1月16日（火）午後1時から午後1時20分まで

場所：知事公邸

3 参考

(1) 本県において段ボール製品の調達に関する締結済みの協定について

県内事業者である日段(株)および鳥取森紙業(株)と協定締結済み。(両社共に平成26年に締結)

※ 日段(株)、鳥取森紙業(株)は西日本段ボール工業組合に加盟。

(2) 本協定と既存協定との関係

西日本段ボール工業組合に応援要請を行った場合、日段(株)および鳥取森紙業(株)が被災等により対応できない場合を除き、両社がまず対応することからも、締結済みの2協定はそのまま継続。

(3) 西日本段ボール工業組合は、所管エリアの15府県との協定締結を目標としている。

(参考) 西日本段ボール工業組合の所管エリア

近畿	福井県、滋賀県、京都府、大阪府、和歌山県、兵庫県、奈良県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県

*山口県は「南日本段ボール工業組合」のエリアに含まれる。

弾道ミサイル落下を想定した県・市町村共同の住民避難訓練の実施について

平成29年12月19日
危機対策・情報課

弾道ミサイルの発射が相次ぐなど北朝鮮を巡る情勢は依然として緊迫した状況にあることから、弾道ミサイル落下を想定した住民避難行動について一層の周知を図るため、県と8市町村（倉吉市・若桜町・日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日野町・江府町）による共同住民避難訓練を実施しました。

1 実施目的

Jアラートを通じて防災行政無線などから流れる国民保護サイレンと緊急情報を広く周知するとともに、緊急時の避難行動についての住民理解を深める。

2 実施日時

平成29年12月2日（土）10:00～10:15（伯耆町 10:40～10:55、大山町 11:45～正午に実施）

3 参加者

市町村名	参加地区・団体等	参加人数
倉吉市	国府・国分寺地区住民、社小学校女子バレースポーツ少年団員	約50名
若桜町	西町地区住民	約60名
日吉津村	日吉津・富吉地区住民	約300名
大山町	中山地区住民、中山生活創造館利用者、中山みどりの森保育園児	約100名
南部町	下中谷地区住民、緑水園利用者、祐生出会いの館利用者	15名
伯耆町	町立岸本中学校の野球部員	20名
日野町	根雨地区住民等	8名
江府町	江尾地区住民、防災情報センター利用者	7名
合 計		約560名

4 主な訓練内容

(1) 防災行政無線等による住民への情報伝達

防災行政無線（屋外スピーカー、戸別受信機）等により、弾道ミサイルが本県に影響を与えるおそれがある場合に流れる国民保護サイレンやJアラートの音声を住民又は施設利用者へ伝達した。

①発射情報

「ミサイル発射。ミサイル発射。ミサイルが発射された模様です。建物の中、又は地下に避難してください。」

②避難の呼びかけ

「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。」

③落下情報等

「ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが落下した可能性があります。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してください。」

(2) 住民等の避難行動 … 訓練参加者が自らその場で避難先を考える。

①屋外にいる参加者

近隣の建物に避難するか、屋内避難が間に合わない場合はその場で伏せる等の行動を行う。

②屋内にいる参加者

自宅にとどまり窓から離れる行動を行う。ただし、近くの頑丈な建物への避難が間に合う場合、自宅から出て頑丈な建物の中へ避難する。

(3) 市町村から県への情報伝達

Jアラートの作動状況及び被害状況について、消防庁への報告様式及び報告手順に基づき市町村から県への報告を実施した。

5 主な講評コメント（倉吉市訓練）

(1) 知事

- ・ミサイルは約10分で到達する。屋外にいる場合には建物の中へ、屋内ではできるだけ窓から離れたところに移動し、身を伏せることが大切である。
- ・できることは限られるが、（スポーツ少年団員はカバンを持っているので）大切な頭をカバンで守ることも行ってほしい。
- ・今日学んだことは周りの方々にも伝え、地域全体が安心できるようにしてほしい。

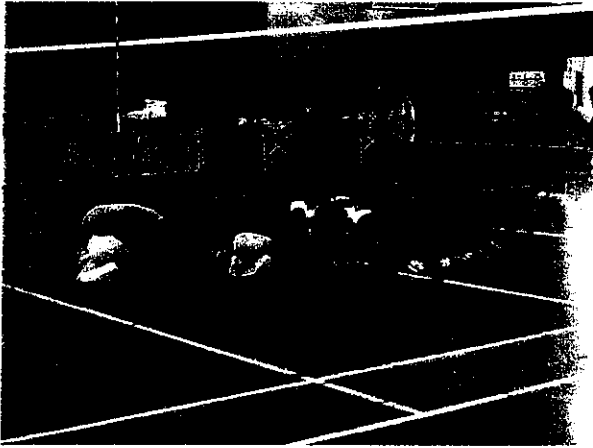
(2) 倉吉市長

- ・Jアラートの放送にしっかり耳を傾け、その情報に合わせた避難行動をお願いしたい。
- ・避難行動は非常に短時間の対応となるため、日ごろから避難行動を考え、家族や地域の皆さんとも話し合うことが大切である。

6 主な成果等

- ・国民保護サイレンと緊急情報を防災行政無線等から実際に聞くことによって、住民にJアラートからの情報伝達の具体的なイメージの周知を図ることができた。
- ・住民が国の示す「弾道ミサイル落下時の行動」に沿った避難行動を実践し、緊急時の行動の理解を深めることができた。
- ・被害状況等の消防庁への報告手順について、県と市町村の間で確認できた。
- ・住民からは、「自然災害とミサイルでは避難の方法や姿勢の取り方が異なり、参考になった」、「サイレンの音は少し怖くて緊張したが、いざというときに生かしたい」などの感想があった。

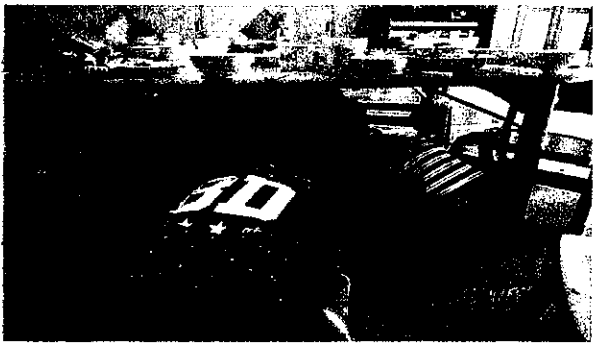
■住民避難訓練の状況



住民避難訓練の実施状況（倉吉市）



住民避難訓練の実施状況（日吉津村）



住民避難訓練の実施状況（大山町）

（参考）県内の住民避難訓練の実施状況

今年度中には、県内16市町村（約84%）が住民避難訓練を実施又は実施予定である。

実施済（14市町村）	琴浦町（8/19）、米子市（9/30）、境港市（10/1他）、鳥取市・湯梨浜町（10/29）、日南町（11/11）、倉吉市・若桜町・日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日野町・江府町（12/2）
実施予定（2町）	智頭町（実施時期未定）、八頭町（実施時期未定）

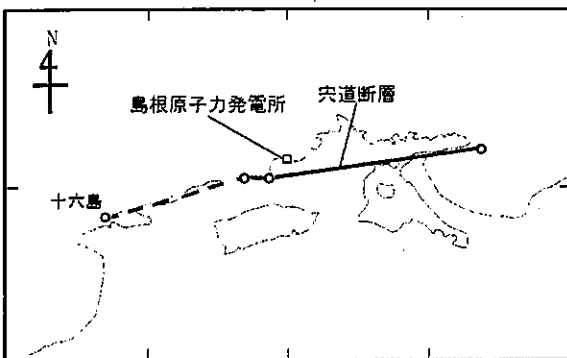
島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について（第38報）

平成29年12月19日
原子力安全対策課

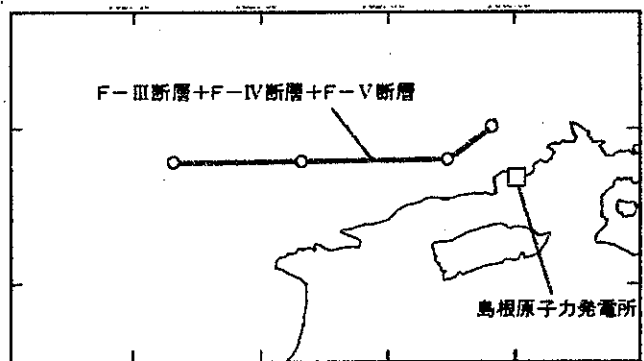
平成25年12月25日に申請が行われた島根原子力発電所2号機並びに平成28年7月4日に申請が行われた同2号機に係る特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）に係る原子力規制委員会の新規制基準適合性審査会合の状況等は次のとおりです。

1 島根原子力発電所2号機に係る審査会合
* 前回の報告（平成29年10月27日）以降の審査会合

回数(開催日)	議題	概要
88回目 (H29. 12. 1)	〔地震・津波〕 震源を特定して策定する地震動 (コメント回答)	<p><中国電力の説明> 島根原子力発電所への影響が大きい地震として、陸域の宍道断層による地震と敷地周辺海域断層（F-Ⅲ断層+F-Ⅳ断層+F-V断層）による地震を選定しており、その地震動の評価は、断層の長さや断層の幅、断層面の傾き（断層傾斜角）等により大きく影響を受けるため、これらの設定に関する説明が、前回の審査会合（10月27日）から引き続き行われた。 今回の審査会合では、前回の審査会合等における以下の4つの指摘事項に対する説明が行われた。</p> <p>○地震発生層の深さ 上限深さ2 km及び下限深さ20 kmについて、データを拡充して説明した。</p> <p>○宍道断層の不確かさの考慮（長さ） 昨年11月の審査会合では、不確かさを考慮して宍道断層の長さを美保関町東方沖合いから十六島までの6.3 kmとしたケースについて評価していたが、前回の審査会合ではこのケースを検討をしていなかったため、検討を求められた。宍道断層西端の評価等を説明し、6.3 kmのケースの検討が不要であることを説明した。</p> <p>○F-Ⅲ～F-V断層の不確かさの考慮（断層傾斜角） 前回の審査会合で指摘された断層傾斜角の不確かさを考慮したケースを追加することについて説明した。</p> <p>○マグニチュードの計算 審査ヒアリングで指摘された他のマグニチュード計算式も用いて、宍道断層及びF-Ⅲ～F-Vの断層の計算結果を確認したことについて説明した。</p> <p><原子力規制委員会のコメント> 震源を特定して策定する地震動については、概ね妥当な検討がなされていると評価する、とのコメントがあった。 また、今後は「基準地震動の策定」に関する審議に入るとの方針が示された。</p>

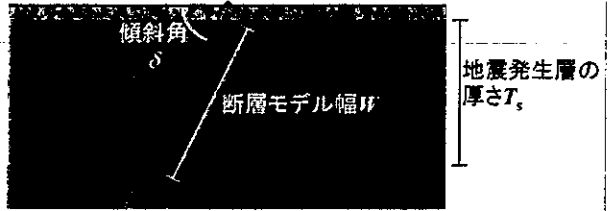
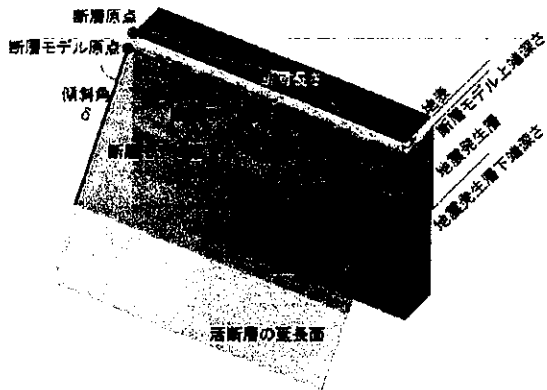


宍道断層



敷地周辺海域断層
(F-Ⅲ断層+F-Ⅳ断層+F-V断層)

○地震発生層、断層傾斜角



2 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）に係る審査会合
* 前回の報告（平成29年1月19日）以降の審査会合

回数(開催日)	議 題	概 要
開催なし		*直近は平成28年9月13日の1回目

- (別紙) 1 島根原子力発電所2号機の適合性審査の進捗状況
2 島根原子力発電所2号機の適合性審査会合一覧

島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の進捗状況

*斜字：審査済

区分	議題	回数	主な審査の状況等
申請概要等 (4回)		4	主要な論点 (24項目) を規制庁が提示。審査の進め方を確認。
地震対策 (30回)	震源を特定して策定する地震動	20	宍道断層の評価長さを約39kmとし、宍道断層と鳥取沖西部断層が連動せず、777ガルとすることです (審査済)。
	震源を特定せず策定する地震動	1	検討対象16地震の内、鳥取県西部地震と留萌支庁南部地震を対象とし、申請当初より大きな620ガルとすることです (審査済)。
	地下構造評価	4	解析モデルは3号機地盤の1次元モデルの採用です (審査済)。
	敷地の地質・地質構造	2	敷地内に破碎帯、活断層はないこと、敷地に分布するシームは少なくとも後期更新世以降活動していないことを説明 (審査済)。
	基準地震動	0	—
	耐震設計方針	3	耐震重要度分類の変更について説明。
	地盤・斜面の安定性	0	—
津波対策 (1回)	基準津波	1	鳥取県 (2012) が日本海東縁部に想定した地震による津波及び敷地前面海域の「F-III～F-V断層」から想定される地震による津波を基準津波として策定したことを説明。
	耐津波設計方針	0	—
重大事故対策 (32回)	確率論的リスク評価 (PRA)	4	重大事故等対策を実施する前の仮想的なプラント状態において、炉心が損傷し重大事故に至る確率について説明。
	事故シーケンスの選定	3	新規制基準において対策が義務づけられたシビアアクシデント対策の有効性評価を行う事故シーケンスグループの選定について説明。
	有効性評価	12	選定された事故シーケンス毎に、新規制基準により義務づけられたシビアアクシデント対策が有効に機能するかどうかについて説明。
	解析コード	4	有効性評価で用いた解析プログラムについて説明。
	原子炉制御室	1	事故発生時にも原子炉制御室が有効に機能することを説明。
	水素対策	1	水素爆発防止対策 (電源を必要としない水素処理装置や水素濃度監視装置など) を説明。
	緊急時対策所	1	重大事故等対処要員が滞在し、プラント情報を把握するための設備や発電所内外との通信設備等及びそれらの運用を説明。
	フィルタ付ベント設備	6	申請時から新たにヨウ素フィルタ (銀ゼオライト)、弁を追加。全体設計、フィルタ性能、運用方法等について説明。
設計基準事故対策 (22回)	竜巻	3	設計竜巻による最大風速を引き上げ (69m/s→92m/s)。
	火災	4	発電所建物の内部・外部で起こりうる火災について説明。
	内部溢水	4	地震による配管破断や津波による浸水、消火活動における放水等により、原子炉施設内部で漏水事象が発生した場合においても、安全上重要な設備の機能が損なわれないことについて説明。
	火山	2	火山灰の堆積厚さについて、三瓶山と大山の火山活動等の不確かさを考慮し、当初申請の2cmから30cmに見直すことを説明。
	外部事象	1	設計上考慮すべき外部事象の選定について説明。
	保安電源設備	0	—
	静的機器の単一故障等	8	静的機器の単一故障設計、誤操作防止対策、圧力バウンダリ、通信連絡設備、監視測定設備、共用設備について説明。
計		88	[年度別] H25:4回、H26:36回、H27:32回、H28:11回、H29:5回

*77回目は、「耐震設計方針」、「有効性評価」の回数にそれぞれ計上しており、計は一致しない。

島根原子力発電所2号機の適合性審査会合一覧

1 新規制基準適合性審査

回数	開催年月日	議題		常任委員会報告日 (通算回数)
		地震・津波関係	プラント関係	
1回目	H26.1.16	申請の概要		H26.2.21(1)
2回目	H26.1.28	申請内容に係る主要な論点		
3回目	H26.2.20	敷地周辺陸域の活断層評価		H26.3.18(2)
4回目	H26.3.19	敷地周辺海域の活断層評価		H26.4.21(3)
5回目	H26.4.9	敷地周辺活断層評価(コメント回答)		
6回目	H26.4.16	地下構造評価		H26.5.21(4)
7回目	H26.5.1	敷地周辺陸域・海域の活断層評価(コメント回答)		H26.6.12(5)
8回目	H26.6.27	震源を特定せず策定する地震動		H26.7.2(6)
9回目	H26.7.22		確率論的リスク評価(内部事象PRA)	H26.8.21(7)
10回目	H26.8.5		静的機器の単一故障に係る設計	
11回目	H26.8.28		フィルタベント系(設計、仕様)	H26.9.18(8)
12回目	H26.9.5	地下構造評価(コメント回答)		
13回目	H26.9.11		フィルタベント系(適用、コメント回答)	H26.10.9(9)
14回目	H26.9.30		確率論的リスク評価(地震・津波PRA)	
15回目	H26.10.2		事故シーケンスの選定	
16回目	H26.10.14		有効性評価	H26.11.27(10)
17回目	H26.10.16		外部火災(森林火災)	
18回目	H26.10.23		内部溢水	
19回目	H26.10.30		外部火災(産業施設、航空機墜落)	
20回目	H26.11.6		有効性評価(保管場所、アクセスルート)	
21回目	H26.11.13		有効性評価	
22回目	H26.11.20	地下構造評価(コメント回答)		H26.12.17(11)
23回目	H26.11.21		内部火災	
24回目	H26.12.4		有効性評価	H27.1.21(12)
25回目	H26.12.9		<現地調査>	
26回目	H27.1.15		有効性評価	H27.2.13(13)
27回目	H27.1.16	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		
28回目	H27.1.27		有効性評価	H27.3.10(14)
29回目	H27.2.3		電巻影響評価	
30回目	H27.2.5-6	<現地調査>		H27.5.20(15)
31回目	H27.2.10		緊急時対策所	
32回目	H27.2.19		誤操作の防止・安全避難通路等・安全保護回路	H27.6.8(16)
33回目	H27.2.24		圧力バウンダリ	
34回目	H27.2.26		フィルタベント系(主ライン、弁構成)	H27.6.24(17)
35回目	H27.3.3		有効性評価(原子炉格納容器限界温度・圧力)	
36回目	H27.3.5		静的機器の単一故障(コメント回答)	H27.7.21(18)
37回目	H27.3.6	地下構造評価(コメント回答)		
38回目	H27.3.17		有効性評価(燃料プール、運転停止中)	H27.8.21(19)
39回目	H27.3.19		外部火災(コメント回答)	
40回目	H27.3.24		通信連絡設備	H27.8.21(19)
41回目	H27.3.31		電巻影響評価(コメント回答)	
42回目	H27.4.2		監視測定設備	H27.8.21(19)
43回目	H27.4.7		フィルタベント系(運用方法等)	
44回目	H27.4.9		電巻影響評価(フジモデルの適用)	H27.8.21(19)
45回目	H27.4.21		共用に関する設計上の考慮	
46回目	H27.4.24	敷地の地質・地質構造		H27.8.21(19)
47回目	H27.5.12		解析コード	
48回目	H27.5.15	敷地周辺海域の活断層評価(コメント回答)		H27.8.21(19)
49回目	H27.5.21		内部溢水(コメント回答)	
50回目	H27.5.28		フィルタベント系(コメント回答)	H27.8.21(19)
51回目	H27.6.2		誤操作の防止・安全避難通路等・安全保護回路(コメント回答)	
52回目	H27.6.9		解析コード	H27.8.21(19)
53回目	H27.6.11		原子炉制御室	
54回目	H27.6.12		火山影響評価	H27.8.21(19)
55回目	H27.6.19	敷地周辺陸域の活断層評価(重力量に係わるコメント回答)		
56回目	H27.6.23		解析コード	H27.8.21(19)
57回目	H27.6.30		確率論的リスク評価(コメント回答)	
58回目	H27.7.2		外部事象の考慮	H27.8.21(19)
59回目	H27.7.9		確率論的リスク評価(コメント回答)	
60回目	H27.7.14		フィルタベント系(コメント回答)	H27.8.21(19)
61回目	H27.7.16		内部火災(コメント回答)	
62回目	H27.7.21		原子炉建屋内水素対策	H27.8.21(19)
63回目	H27.7.28	敷地周辺陸域・海域の活断層評価(コメント回答)		
64回目	H27.8.4		内部火災(コメント回答)、今後のBWRプラントの審査の進め方	H27.8.21(19)
65回目	H27.8.6			

回数	開催 年月日	議 題		常任委員会報告日 (通算回数)
		地震・津波関係	プラント関係	
66回目	H27.9.9	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H27.9.14(20)
67回目	H27.10.15		解析コード(コメント回答)	
-	H27.10.29-30	<現地調査>		H27.12.1(21)
68回目	H27.11.20	敷地周辺海域の活断層評価(国土交通省断層)		
69回目	H27.12.16	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答、西端の評価)		H27.12.16(22)
70回目	H28.1.15	敷地の地質・地質構造(コメント回答)		H28.1.21(23)
71回目	H28.1.29	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H28.2.24(24)
72回目	H28.3.31		今後のBWRプラントの審査の進め方	H28.4.21(25)
73回目	H28.4.21		BWR審査における論点及び今後の審査の進め方	
74回目	H28.4.28		火山影響評価(コメント回答)	
75回目	H28.5.13	震源を特定して策定する地震動		H28.5.31(26)
76回目	H28.5.26	耐震重要度分類		
77回目	H28.7.12	耐震重要度分類	有効性評価(コメント回答)	H28.7.19(27)
78回目	H28.8.25		有効性評価(コメント回答)	H28.9.15(28)
79回目	H28.9.15		有効性評価(コメント回答)	H28.10.7(29)
80回目	H28.11.11	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H28.11.28(30)
81回目	H28.11.16	耐震設計の論点		
82回目	H28.12.16	基準津波の策定		H29.1.19(31)
83回目	H29.2.17	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H29.2.24(32)
84回目	H29.6.9	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H29.6.28(33)
-	H29.7.13	<自治体職員向け説明会>		H29.7.21(34)
85回目	H29.7.28	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H29.8.21(35)
86回目	H29.9.29	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H29.10.6(36)
87回目	H29.10.27	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H29.12.1(37)
88回目	H29.12.1	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H29.12.19(38)

2 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備(3系統目)に係る審査会合

回数	開催 年月日	議 題	常任委員会報告日 (通算回数)
1回目	H28.9.13	申請の概要	H28.9.15(28)

: 今回の報告対象

平成29年度「防災とボランティアの日」及び「防災とボランティア週間」における防災関連行事
について

平成29年12月19日
消 防 防 災 課

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図るために、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」、その日を含む1月15日から1月21日までを「防災とボランティア週間」とされています。この機を捉えて、県内において、防災関連行事が以下のとおり実施されます。

〔県・市町村等の防災関連行事〕

行事名	日時・場所・内容	問い合わせ先
消防出初式	日時：1月6日（土）午前10時～11時10分 場所：東巖城町市民スポーツ広場（倉吉市） 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。	鳥取中部ふるさと広域連 合消防局総務課 （電話 0858-29-5120）
	日時：1月6日（土）午前10時～11時30分 場所：江府町山村開発センター（江府町） 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。	江府町総務課 （電話 0859-75-2211）
	日時：1月7日（日）午前10時～正午 場所：米子市文化ホール、米子港埠頭（米子市） 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。	米子市防災安全課 （電話 0859-23-5338） 鳥取県西部広域行政管理 組合消防局総務課 （電話 0859-35-1951）
	日時：1月7日（日）午前10時～11時30分 場所：東巖城町市民スポーツ広場（倉吉市） 内容：式典、機械点検及び一斉放水を実施。	倉吉市防災安全課 （電話 0858-22-8162）
	日時：1月7日（日）午前10時～11時50分 場所：境港市民会館、大正町内港埠頭（境港市） 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。	境港市自治防災課 （電話 0859-47-1071）
	日時：1月7日（日）午前10時～11時30分 場所：中央公民館（八頭町） 内容：式典及び一斉放水を実施。	八頭町総務課防災室 （電話 0858-76-0203）
	日時：1月7日（日）午前9時30分～11時30分 場所：湯梨浜町中央公民館（湯梨浜町） 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。	湯梨浜町総務課 （電話 0858-35-3111）
	日時：1月7日（日）午前10時～正午 場所：琴浦町東伯勤労者体育センター（琴浦町） 内容：式典、分列行進、機械点検及び一斉放水を実施。	琴浦町総務課 （電話 0858-52-1700）
	日時：1月7日（日）午前9時30分～11時30分 場所：運転免許試験場跡地（北栄町） 内容：式典及び一斉放水を実施。	北栄町総務課 （電話 0858-37-3111）
	日時：1月7日（日）午前10時～11時30分 場所：役場玄関前（日吉津村） 内容：式典、機械点検及び一斉放水を実施。	日吉津村総務課 （電話 0859-27-5950）
	日時：1月7日（日）午前10時～11時50分 場所：名和総合運動公園駐車場及び名和川（大山町） 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。	大山町総務課 （電話 0859-54-5201）

行事名	日時・場所・内容	問い合わせ先
消防出初式	日時：1月7日(日) 午前10時～正午 場所：南部町農業者トレーニングセンター(南部町) 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。	南部町総務課 (電話 0859-66-3112)
	日時：1月7日(日) 午前10時～正午 場所：伯耆町農村環境改善センター(伯耆町) 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。	伯耆町総務課 (電話 0859-68-3111)
	日時：1月13日(土) 午前9時30分～11時50分 場所：日南町総合文化センター(日南町) 内容：式典、一斉放水及びパレードを実施。	日南町総務課 (電話 0859-82-1111)
	日時：1月14日(日) 午前9時～11時40分 場所：鳥取市立北中学校、鳥取市立久松小学校、鳥取城跡お堀端(鳥取市) 内容：式典、分列行進、一斉放水、古式ポンプ操法、まとい演技及びはしご登りを実施。	鳥取市危機管理課 (電話 0857-20-3127) 鳥取県東部広域行政管理組合消防局消防総務課 (電話 0857-23-2433)
	日時：3月25日(日) 午前9時30分～正午 場所：岩美町民体育館(岩美町) 内容：式典、分列行進、機械点検、一斉放水及び規律訓練を実施。	岩美町総務課 (電話 0857-73-1411)
	日時：4月1日(日) 午前8時～正午 場所：智頭小学校、旧山形小学校、旧那岐小学校、旧土師小学校、旧富沢小学校、旧山郷小学校(智頭町) 内容：式典、分列行進、機械点検、一斉放水及び操法を実施。	智頭町総務課 (電話 0858-75-4111)
	日時：4月1日(日) 午前10時～11時30分 場所：黒坂小学校(日野町) 内容：式典、分列行進及び一斉放水を実施。該当者があれば、任命式、退任式、新入団員辞令交付式を実施。	日野町総務課 (電話 0859-72-0331)
	日時：4月8日(日) 午前10時～11時30分 場所：わかさふれあい広場(若桜町) 内容：式典、分列行進、機械点検、一斉放水及びパレードを実施。	若桜町総務課 (電話 0858-82-2211)
文化財防火デー (1月26日)	日時：1月21日(日) 午前9時～正午 場所：転法輪寺(琴浦町) 内容：地元の自衛消防団、琴浦町消防団及び琴浦消防署の合同による文化施設を対象とした消防訓練を実施。	琴浦町総務課 (電話 0858-52-2111)
	日時：1月21日(日) 時間未定 場所：元野神社(北栄町) 内容：町消防団による文化財施設を対象とした消火訓練。	北栄町総務課 (電話 0858-37-3111)
	日時：1月28日(日) 午前9時～9時30分 場所：不動院岩屋堂(若桜町) 内容：貴重な文化財を火災等の災害から守るため、消防団、自警団が消防署と協力し訓練を実施。	若桜町総務課 (電話 0858-82-2211)
	日時：1月28日(日) 午前10時～11時 場所：矢部家住宅(八頭町) 内容：文化財を火災から守るため、消防署、消防団、自警団による合同消火演習を実施。	八頭町総務課防災室 (電話 0858-76-0203)
	日時：1月28日(日) 午前9時～正午 場所：石脇観音堂(湯梨浜町) 内容：自主防災組織、消防団、湯梨浜消防署合同の消防訓練を実施。	湯梨浜町総務課 (電話 0858-35-3111)
春の全国火災予防運動 (3月1日～7日)	日時：3月4日(日) 午前8時30分～正午 場所：八頭町八東地域(八頭町) 内容：消防車による防火広報及び消防署、消防団、自警団による合同消火演習を実施。	八頭町総務課防災室 (電話 0858-76-0203)

行事名	日時・場所・内容	問い合わせ先
平成 29 年度災害時 応援協定事業者へ の支援要請訓練	日時：1月17日(水) 午前11時～ 場所：県庁災害対策室(鳥取市) ほか 内容：県と県内協定締結業者の対応能力を向上させるため、災害発生 を想定した支援要請訓練を実施。	鳥取県危機管理政策課 (電話 0857-26-7894)
平成 29 年度鳥取県 消防関係表彰式	日時：2月17日(土) 時間未定 場所：鳥取市人権交流プラザ(鳥取市) 内容：功労のあった消防関係者及び消防関係団体に対する表彰を実施。	鳥取県消防防災課 (電話 0857-26-7065)
平成 29 年度鳥取県 消防大会	日時：2月17日(土) 時間未定 場所：鳥取市人権交流プラザ(鳥取市) 内容：本県の消防関係者を対象とした研究討議を実施。	鳥取県消防防災課 (電話 0857-26-7065)
防災研修等の支援 (鳥取県自主防災 活動アドバイザー 派遣制度)	日時：2月12日(月・祝) 午前9時30分～午後0時30分 場所：鳥取県立倉吉未来中心(倉吉市) 内容：防災学習(避難所運営においての女性にできること)に自主防 災活動アドバイザー(浅井 秀子 氏)を派遣し、防災に関する 講演を実施。	鳥取県中部地震復興本 部事務局 (電話 0858-23-3292)
	日時：3月18日(日) 午前10時～正午 場所：倉吉市関金総合文化センター(倉吉市) 内容：地域の防災研修会に講師として自主防災活動アドバイザー (前田 雅之 氏)を派遣し、防災に関する講演を実施。	鳥取県中部地震復興本 部事務局 (電話 0858-23-3292)
平成 29 年度防災士 養成研修	日時：1月20日(土)～1月21日(日) 場所：鳥取県立倉吉体育文化会館(倉吉市) 内容：講義(12講座)、防災士資格取得試験(全講義終了後に、NP ○法人日本防災士機構が実施)	鳥取県中部地震復興本 部事務局 (電話 0858-23-3292)
平成 29 年度地域防 災リーダースキル アップ研修	日時：1月14日(日) 午前9時～午後5時20分 場所：鳥取市人権交流プラザ(鳥取市) 内容：講義(「地震の仕組みと対策」、「避難行動要支援者への支援」、 「気象情報の活用」等)、災害対応訓練(災害発生時の自主防 災組織の活動内容・役割等に係る図上訓練)	鳥取県消防防災課 (電話 0857-26-7082)
	日時：2月4日(日) 午前9時～午後5時20分 場所：鳥取県立倉吉未来中心(倉吉市) 内容：講義(「地震の仕組みと対策」、「避難行動要支援者への支援」、 「気象情報の活用」等)、災害対応訓練(災害発生時の自主防 災組織の活動内容・役割等に係る図上訓練)	鳥取県中部地震復興本 部事務局 (電話 0858-23-3292)
企画展「鳥取県中 部地震から1年～ 住民の声と、今～」	日時：1月5日(金)～3月31日(土) 場所：鳥取県西部地震展示交流センター内(日野町) 内容：鳥取県中部地震に関する新聞記事や広報誌、支援活動の写真 等を展示。	鳥取県西部地震展示交 流センター (電話 0859-72-2220)

